

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (16 : 30 ~ 20 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 12 名 (楫野、藤田、藪本、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、竹原、松本、山田、岩尾)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	10 人	2 人	人	12 人

前回の改善計画
<p>職員会議議事録は開催日から 3 日以内に作成、書記は重要な決定事項は申し送りノートに記述する。議事録作成後は速やかに議事録を必ず読むよう職員一人一人に申し伝える。また、翌日には出席できなかった職員に会議の内容を説明する機会を設ける。</p> <p>職員は自分の担当のケアプランを把握し何がニーズとしてあるのかを理解し、コミュニケーションをとりながらニーズの掘り起こしにも努める。そのうえでどのようなケアが必要かを提案、助言する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>職員会議議事録は概ね 3 日以内に作成、即時的に必要な決定事項の申し送りも出来ている。議事内容の説明機会は設ける事が難しかった為、議事録を全職員が必ず読むよう徹底した。</p> <p>職員の担当する利用者のケアプラン把握は出来ておらず、どのようなニーズがあるかを把握出来ていない。また、潜在的なニーズの掘り起こしも不足しており、今後の課題である。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	10			12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		10	2		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	10	1		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	10	1		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>サービス開始前には全職員に情報を提供し、朝のミーティングや職員会議の場にてケアの提供方法等の情報共有を図っている。</p> <p>本人や家族の必要としている支援が出来るよう利用開始前に何度か訪問し必要とされるサービスの提供につながるよう支援出来ている。</p> <p>気付きを大切にしており、職員間で気付きの伝達を行っている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>担当の方のケアプランにあまり目を通す事が出来ておらず、ニーズの把握が不十分である。その為担当職員から、どのようなケアが必要かの意見もなく助言もない。</p> <p>利用者の方々とのコミュニケーションは概ね取れているが、潜在的ニーズの把握を行うという認識が持ててない。ニーズの掘り起こしが不十分である。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>担当職員はケアプランを必ず読みニーズの把握に努める。また、常日頃から利用者の方と接点を持つように意識し潜在的ニーズの掘り起こしに努める。</p> <p>職員間の連携を重要視する。知り得た情報は管理者報告する。他の職員へは口頭や申し送りノートにて他の職員に必ず伝達する。当日出勤してない職員への情報提供は申し送りノートで不十分であれば、管理者から情報提供を行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (16 : 30 ~ 20 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 12 名 (楫野、藤田、薮本、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、竹原、松本、山田、岩尾)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10 人	1 人	1 人	12 人

前回の改善計画	担当の職員はケアプランをしっかりと読んでニーズが何かを把握する。そのうえでニーズをしっかりと意識して対応する。ニーズと相違するケアの提供がされている場合は、ケアの提供方法の修正や改善方法を指導する。ケアマネは利用者の具体的なニーズを抑えケアプランに落とし込み、全職員に周知徹底する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアプランをあまり読んでおらずニーズが把握しきれていない。その為ニーズと相違するかどうかのチェックも出来ているとはいえ、ケアの提供方法が職員によって異なる事があった。また、ケアプランが変更になった場合の周知が遅くなってしまい、本来なされなければならないケアの提供が遅れる事もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	6	4		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	9	2		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		9	3		12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		9	3		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
出来る限り本人の意思を尊重し、その時の状態にあった対応をしようとしている。したいとの意思表示があれば、朝のミーティングや職員会議にて方向性を決めサービス提供に繋げている。また、普段の生活の中では自立支援を意識し本人がしたいと思っている事をこの先もやって頂けるように努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日々の関わりの中でご本人の真の要望 (声にならない声) を拾い切れていない。本人の「したい」と家族の「して欲しい」に相違がある時、ご家族の「して欲しい」に職員が寄りすぎており、本人の「したい」の意思を拾い切れていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
職員の気付きを大切にする。(真の要望の把握) 気付きは管理者報告したうえで必要なケア提供を担当職員と気付いた職員、管理者や看護師を交え協議する。決定事項は速やかに申し送りノート等で全職員に周知する。また朝のミーティングや職員会議の場でも周知し統一されたケア提供を目指す。本人の「したい」の意思を尊重する。家族とよく相談し、ご本人の意思を理解して頂けるようよく話し合い折り合いのつく接点を探る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (16 : 30 ~ 20 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 12 名 (楫野、藤田、藪本、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、竹原、松本、山田、岩尾)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10 人	2 人	人	12 人

前回の改善計画
その人のニーズは何か、職員個々の意識不足である。担当職員はその人のケアプランを読み込みニーズの把握に努める。また、日常の接点の中から言葉にならない本人の気持ちやニーズの掘り起こしに努める (より鋭い様子観察が必要)。ケアマネは家族と十分話し合いより具体的なケアの方向性を書面化し全職員に伝える。家族会は開催予定だが時期は未定。
前回の改善計画に対する取組み結果
ケアプランをあまり読んでいないためニーズの把握が出来ていない。 真のニーズの掘り起こしが不十分で認識不足である。また、支援が作業になっている場合もある。 サービス計画書および個別計画書はご本人や家族には説明しご理解頂いているが、職員には説明しておらずケア提供の方向性の統一が不十分であった。家族会については今後開催を検討する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		1	10	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		10	2		12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4	8		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		11	1		12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		10	2		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	体調面で変化があった場合は、直ぐに管理者や看護師に報告し指示を仰いでいる。 どんな小さな事でも管理者や看護師報告をしている。職員間でも情報は共有するよう努力している。 本人の気持ちや体調の変化に合わせて支援している。また、その日のスタッフにも情報共有している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	忙しすぎて…を理由に本人の能力を生かす援助が出来てない。小さな変化に気付く職員はいるものの看護師や管理者への報告がなされてない、あっても記録に残されていない事が多い。とにかく記録記入が不十分。 「忙しい」を理由にして職員都合のケアになっており本人の能力を生かすケアが出来てない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	コミュニケーションを取りにくい利用者の方への配慮が欠けていた為、積極的なコミュニケーションを取るとともにプライバシーや人権にも配慮するよう徹底する。 「忙しい」を理由とした不十分なケアの提供や職員都合のケア提供、公文書未記入を撲滅する。その為に職員間での連携を十分行い、「作業」の効率化 (助け合える部分は助け合う) を図り本人の能力を生かすケアを全職員が行う。 記録記入の意識が希薄なため経過記録や連絡帳、訪問記録等は公文書である事を全職員が認識し記録の記入を徹底する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (16 : 30 ~ 20 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 12 名 (楫野、藤田、藪本、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、竹原、松本、山田、岩尾)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	2 人	8 人	2 人	12 人

前回の改善計画	<p>地区の民生委員や代表者との会合等に参加し、定期的な話し合いの場を作る。                  地域資源を調べ一覧を作り職員に開示する。                  ケアプランに使える地域資源を盛り込み、職員に周知徹底する。                  職員も地域資源が何であるかをよく知り、使うことを考え提案等をする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>近隣地区において、二度にわたり民生委員会の会合に参加させて頂いたが、継続的な会合出席に結び付いていない。                  利用者別に必要となる地域資源はケアプランに入れ個別ケアの充実を図ることができた。                  職員においては「地域資源」の定義がよく把握できておらず、ケアプランに盛り込んでいても、ケアプランとは別に利用する事になっても「地域資源」との認識が希薄であった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	5	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		5	6	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	6	2	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			9	3	12

できている点	<p>200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること                  来所時は体調・一日の様子等を連絡ノートに記入し家族とのコミュニケーションを取っている。                  送迎や訪問時の際に利用者と雑談のなかで普段の暮らしの理解に努めている。                  定期的に外部ボランティアの方々に「来て頂いたり園児や学生との図ることが出来た。」</p>
--------	--

できていない点	<p>200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること                  通い時、訪問時以外の生活スタイル、どのように過ごされているか、家族との関わり方を十分に把握出来ていない。                  利用者が居住する地域での民生委員や世話役となる方々との接点が作れていない。                  職員においては地域資源は何であるかの理解が不十分である。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>近所付き合いや通い、訪問以外での過ごし方を把握の把握、利用者が居住する地区の民生委員や世話役(町内会長等)の接点を作りケアの充実を図る。                  職員においては地域資源とは何かという事を知り改善提案が出来るようレベルアップを図る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (16 : 30～20 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 12 名 (楫野、藤田、藪本、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、竹原、松本、山田、岩尾)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6 人	5 人	1 人	12 人

前回の改善計画	地域資源、公的サポートを徹底的に調べ上げ一覧にしてまとめる。 地区代表者や民生委員の会合に出席し、地域に溶け込む事をしていく。 有効なものは利用を検討し、必要に応じてケアプランに盛り込む。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源や公的サポートの一覧化は出来なかった。今後調べる必要がある。 近隣の民生委員会の会合には出席できたが継続するまでには至らなかった。 利用者毎に必要な地域資源をケアプランに盛り込みケアの充実が概ね図れた。但し不十分なところもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2	9	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	7	3		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?		11	1		12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	8	2		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域資源の十分な掘り起こしが出来てないものの、知りうる地域資源を活用し、利用者のニーズにそくしたケアの提供が出来た。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 資源を結び付けてサービス提供を行う事を考えようとする意識が希薄である。 (多機能性ある柔軟な支援を行う、との認識が持ててない)
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 利用者毎の担当職員は、まずは利用者の顕在化されたニーズ、潜在的なニーズを把握しその利用者合った資源提供を考え、提案し会議にて利用の検討し必要に応じてケアプランに入れ込む。 また、地域資源や公的サポートの活用を積極的に進める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (16 : 30～20 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 12 名 (楫野、藤田、薮本、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、竹原、松本、山田、岩尾)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3 人	8 人	1 人	12 人

前回の改善計画
<p>その他のサービス機関との会議、自治会のイベントや各種機関の活動に積極的に参加し、その内容を職員に周知する。                      小規模多機能介護施設は地域の拠点であることを各職員が認識する事。                      地域に埋もれているフォーマルサービスやインフォーマルサービスを利用する。                      職員は送迎時に地域に出ていくという認識を持ち、近隣住民の方々にも見かけば挨拶を行う。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>自治会でのイベント、各種機関の活動にあまり参加出来てない。また、どこで何が、どんな催し物があるかを把握していなかった。                      事業所内研修をあまり開催しておらず、地域包括ケアシステムとは何かといった勉強会等が出来なかった。                      地域にあるフォーマルサービス、インフォーマルサービスの利用はある程度出来た。ケアプランにも盛り込めた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	3	5	2	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	2	6	4	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		1	6	5	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		5	5	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>できている点</p>	<p>200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <p>その他のサービス機関 (医療・看護・リハビリ・福祉用具) 連絡会参加や包括との連携を行い利用者の生活の質の維持向上が図る事が出来た。また、必要に応じてケアプランに盛り込んでいる。</p>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>できていない点</p>	<p>200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <p>地域包括ケアの拠点である事の認識が希薄である。                      職員側からサービス提供の提案がほとんどなく受け身の立場となっている。                      自治体、包括センター、各種団体との連携が不十分であった。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>次回までの具体的な改善計画</p>	<p>(200 字以内)</p> <p>まず地域包括ケアを含めた連携・協働の必要性を理解するため、事業所内研修の場を作り職員全員が理解できるようにする。                      利用者に必要なサービスの提案を積極的に行う。(受け身からの脱却を図る)</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (16 : 30～20 : 00)

7. 運営

メンバー 12 名 (楫野、藤田、藪本、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、竹原、松本、山田、岩尾)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	4人	1人	12人

前回の改善計画
<p>まずは、地域にある資源を調べ職員に周知する。職員も利用できる資源について意識し提案をしていく。小規模多機能介護施設が地域ケアの中核拠点である事をしっかり認識し、地域資源を活用するだけでなくアサガオに地域の高齢者や児童、その父兄が出入りしやすい環境を作っていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>地域資源が何であるかを周知出来なかった。事業所内研修の場も作れなかった。職員も地域資源の活用を意識しておらず、提案等あまりなかった。場所や位置的な問題もあるものと想像するがアサガオに地域の方々の来所は殆どなく出入りしやすい環境作りに至らなかった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		6	4	2	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	2		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	7	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2	8	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>月に 2 度の職員会議や毎朝のミーティングで意見交換が出来ている。 利用者や家族からの提言や苦情には都度柔軟に対応出来ている。 利用者が快適な生活をするために関係各所と連携し必要なサービス提供を行っている。 地域からの意見等には朝礼や申し送りノートにて全職員が情報の共有が出来ている。また、同じ苦情等が出ないよう努めている。</p>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>利用者の家族の意見や苦情に速やかに対応しているが、度々同様の事で注意を受ける事がある。 あまり地域と協働した取り組みが出来てないように思われる。 職員会議や毎朝のミーティングで取り決めた統一ルールを自己判断で変えてしまっている。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<p>職員一人ひとりの運営に対する意識が低いため、まずは事業所内研修を通して運営に対しての認識を持つ。 情報共有が出来てないため、どんな細微な事でも管理者報告、職員間の連携を意識し実践する。 本人や家族、介護者の意見を聞き担当職員に伝える。担当職員は必要なサービス提供を考え提案していく。 必要に応じて地域にあるサービスを利用する。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (16 : 30～20 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 12 名 (楫野、藤田、藪本、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、竹原、松本、山田、岩尾)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	3 人	人	12 人

前回の改善計画	<p>小規模多機能型居宅介護連絡会に積極的に参加する。 院内・院外研修受講後の事業所向け研修・振り返りを計画的に実施する。 報告書については 2 週間以内に提出するよう徹底する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>小規模多機能型居宅介護連絡会に何回か参加できた。 院内・院外研修への参加は出来たが、報告会や振り返りは出来てない。 報告書の提出期限を守れない場合があった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5	5	2		12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	5	3		12
③	地域連絡会に参加していますか		3	4	5	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	9	1		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>朝のミーティングや職員会議にてリスクマネジメントについての話し合いを行うことが出来ている。 アクシデントやインシデントなど報告をまとめ全職員で共有し再発や防止に積極的に取り組んでいる。 院内・院外研修に積極的に参加し、研修レポートを提出している。 OJT を活用し人材育成に力を力を入れている。 月に一度、事故防止委員会から報告を行い、事故防止のための評価を行っている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>同じ事故を何度も繰り返すことがある。 事業所内での実践的な研修ほとんど行われていない。 統一された介助方法が出来てない。職員の力量次第で介助方法が変わってしまっている。 研修を受けても報告会や振り返りが行われていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>事業所内研修の場を作り統一した介護・介助方法の実施、外部研修を受けた職員は報告会を行い研修内容の共有を図り職員のスキルアップに努める。 アクシデント、インシデントの報告と対策を朝のミーティング時に発表し、起こりうるリスクに対して全職員が意識する。(リスクマネジメントの強化を図る)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (16 : 30 ~ 20 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 12 名 (楫野、藤田、藪本、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、竹原、松本、山田、岩尾)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	7 人	4 人	人	12 人

前回の改善計画	<p>後見人制度や日常生活自立支援事業などを含めた介護保険制度の勉強会を計画的に実施する。 相手の行動を抑制するような言動をなくすため、待ってほしい時等はどれだけ待つのか、予測と見通しを相手に必ず告げるようにし、スピーチロック撲滅に努める。 利用者の羞恥心やプライバシー保護のための話し合いの場を持ち、職員全員が同じ意識を持つ。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>計画的な勉強会が出来てない。やろうと思えばできたはずである。 スピーチロックを意識せず、言葉の拘束につながる言動がある。 利用者の羞恥心やプライバシー保護のための話し合いの場は作れたが、人権保護の取り組みには不十分であった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	5	1	1	12
②	虐待は行われていない	6	6			12
③	プライバシーが守られている	2	10			12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	7	2	1	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	4	6		12

できている点	<p>200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 拘束になりかねないため行動抑制はせず、常に寄り添う対応をとっている。 拘束とは何かを理解しそれに該当する行動をしないよう心掛けている。 入浴・排泄・更衣・インスリン施注等の際はカーテンやパテーションで仕切りプライバシー保護に努めている。</p>
--------	---

できていない点	<p>200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること センサーマットは拘束に当たるという認識が希薄。 大きな声で利用者や家族の話をする場合がある。 フロア内、他利用者にも聞こえるくらいの声で排泄や身体的特徴等の話をする場合がある。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>後見人制度や日常生活自立支援事業などを含めた介護保険制度の勉強会を計画的に実施する。 相手の行動を抑制するような言動をなくすため、待ってほしい時等はどれだけ待つのか、予測と見通しを相手に必ず告げるようにし、スピーチロック撲滅に努める。 利用者の羞恥心やプライバシー保護のための話し合いの場を持ち、職員全員が同じ意識を持つ。 利用者の尊厳や人権を守るため職員間での会話は他利用者に聞こえないような配慮をする。</p>	